

20年の節目を迎える「阪神・淡路大震災を風化させない取り組み」について

西日本電信電話株式会社 兵庫支店(支店長 鈴木 勝男、以下、NTT西日本)では、阪神・淡路大震災や東日本大震災における復旧対応などで培ってきた経験と教訓をふまえ、災害時においてもお客様に安心・安全な通信サービスをご利用いただける災害対策に取り組んでいます。

今回、2015年1月17日(土)に阪神・淡路大震災発災から20年目を迎えるにあたり、更なる防災意識の向上を目的に、「阪神・淡路大震災を風化させない取り組み」を実施します。

1. NTT西日本の災害の取り組み

阪神・淡路大震災や東日本大震災の教訓をふまえ、災害時の通信確保に向けた災害用伝言ダイヤル(171)^{※1}や災害用伝言板(web171)の提供、公衆電話の無料化、特設公衆電話の設置、及びネットワークの信頼性向上に向けた、津波や洪水などによる浸水に備えた浸水防止対策、停電が発生した場合の予備電源での給電対策など、お客様の通信を途切れさせないよう、災害に強い通信設備づくりを行っています。さらに、今後想定される南海トラフ巨大地震に備え、通信を途絶えさせない災害に強い通信設備の整備や災害対策演習によるノウハウの蓄積等により、万一の時でもお客様に安心・安全なサービスをご利用いただける防災に強い通信サービスの提供に努めていきます。

※1 災害用伝言ダイヤル(171)はNTTコミュニケーションズが提供するサービスですが、実際の災害発生時には、災害の発生地域等に応じて、NTT東日本およびNTT西日本がそれぞれ運用します。

2. 兵庫県立舞子高等学校の「1.17 震災メモリアル行事」への参加

(1) 講演授業「NTT西日本の災害に向けた取り組みについて」

- ① 日時 : 2015年1月16日(金) 11:20~12:20
- ② 会場 : 兵庫県立舞子高等学校
- ③ 参加者 : 兵庫県立舞子高等学校の在校生
- ④ 講演内容 : 阪神・淡路大震災の当時の被災状況を映像や写真でご覧いただき、震災の記憶や教訓を後世に継承するとともに、NTT西日本の過去の災害事例について説明し、万一の時でもお客様に安心・安全なサービスをご利用いただける防災に強い通信サービスの提供に関する取り組みを紹介いたします。

(2) 体験学習「NTT西日本の復旧活動の取り組みについて」

- ① 日時 : 2015年1月19日(月) 14:20~16:30
- ② 会場 : NTT神戸中央ビル1F・駐車場
- ③ 参加者 : 兵庫県立舞子高等学校の在校生
- ④ 体験内容 : 災害発生時にNTT西日本が取り組む復旧活動の「Ⅰ.被災調査」「Ⅱ.救援活動」「Ⅲ.復旧工事」を、想定した被災内容をもとに実際に災害対策機器等に触れて体験いただきます。

I. 被災調査

災害時における被災地の状況を遠隔地にあるオフィス等へ正確に

伝えるため、メガネデバイス等を活用した遠隔地との映像情報の共有や、地図情報マネジメントシステムを使用した位置情報付きの現地写真の共有^{※2}を体験していただきます。

※2 本システムでは、現地で携帯電話により撮影したGPS情報付写真を、社内専用メールアドレスに送信することで、本システム上で現地の画像や位置情報を確認できます。

II. 救援活動

災害時に通信が利用できない場合、ポータブル衛星装置を設置し通信を確保するとともに、情報伝達手段としての災害用伝言ダイヤル(171)及び災害用伝言板(web171)の体験訓練を行います。

III. 復旧工事

災害発生により光ケーブルが断線したことを想定し、光ケーブルの融着接続を体験していただきます。

* 詳細は、[別紙1「体験学習 NTT西日本の災害への取り組み」](#)をご参照ください。

3. 自治体主催の阪神・淡路大震災イベントへの参加

兵庫県で行われる自治体主催の各種イベントに参加し、NTT西日本社員の更なる防災意識の向上を図るとともに、NTT西日本の災害対策における通信サービスを体験いただき、万一時でもお客様に安心・安全なサービスをご利用いただけるよう努めていきます。

(1) 神戸市・明石市総合防災訓練

神戸市・明石市主催の本イベントに企業市民として参加し、社員の防災意識の向上を図ります。

- ① 日時 : 2015年1月15日(木) 10時
- ② 場所 : 神戸市内及び明石市内にあるNTT西日本 兵庫支店及びグループ会社の事務所

(2) 1.17 ひょうご安全の日のつどい(HAT神戸)での災害対策機器等の体験コーナー設置

災害発生時に必要な情報伝達及び情報収集のためにご利用いただけるサービスの体験コーナーを設置し、有事の際の意識を高めていただきます。

- ① 日時 : 2015年1月17日(土) 10時30分~15時
- ② 場所 : HAT神戸交流ひろば
- ③ 体験サービス :

・災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)

災害用伝言ダイヤル(171)は、災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。災害用伝言板(web171)は、インターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板です。ご利用には通話料等が必要ですが、体験コーナーでは無料でご利用いただけます。

・災害時に孤立したWi-Fiアクセスポイントで近隣情報収集(デモ)

災害によってインターネットに接続できない環境下にある孤立したWi-Fiアクセスポイントに接続し、スマートフォンにインストールした防災アプリ^{※3}を利用することで端末間通信を実現し、災害時に必要な避難所マップの取得、周辺端末情報(人の気配)の収集、エリア内の掲示板利用など、情報の収集・共有・備蓄が可能です。^{※4}

※3 事前に防災アプリをインストールする必要があります。

※4 詳細は[別紙2「災害時に孤立したWi-Fiアクセスポイントで近隣情報収集」\(デモ\)](#)をご参照ください。

(3) 1.17 ひょうごメモリアルウォークへの参加

新たな災害への備えを目的に社員が企業市民として参加し、災害発生時の避難・帰宅訓練を想定して事業所から避難先であるHAT神戸までのルート確認、及びルート上の災害時帰宅支援ステーションの確認を行い、社員の防災意識の向上を図ります。

- ① 日時 : 2015年1月17日(土) 10時~12時
- ② 場所 : NTT神戸中央ビルからHAT神戸なぎさ公園

ニュースリリースに記載されている内容は、報道発表時のものです。

最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。